



レファレンス通信

No. 14

2012.9
石川県立図書館
利用サービスグループ
〒920-0964
金沢市本多町 3-2-15

絵図・地図資料にみる昔の金沢

昔の土地柄を調べるのは、図書館では定番の調べものです。

今回は、昔の金沢を調べるのに便利な、復刻された絵図と、地図資料をご紹介します。



石川県立図書館所蔵「延宝金沢図」より

I 金沢の詳細図 ※ 縮尺1万分の1、またはこれ以上詳細な図。

縮尺1万分の1は、町名のほか官公庁・病院・学校などの公的施設が記載されるレベルの地図です。

- (1) 寛永8年(1631)「石浦神社氏子地図」 86×118cm／【K222/125/2-18-B-9】※1
石浦村長谷寺氏子の土地七ヶ村(石浦村・笠舞村・保島村・朱免野村・山崎村・今市村・木新保村)を記載。
- (2) 寛文7年(1667)「金沢図」／【K222/125/2-18-B-5】※1
金沢町の武士の屋敷地を調べることができる一番古い絵図。原本は石川県立図書館所蔵。
- (3) 延宝年間(1673-1681)「金沢城下図」 118×166cmを2分割／【K222/125/2-18-B-7】※1
金沢町の武士の屋敷地を記載。原本は石川県立図書館所蔵「延宝金沢図」。
- (4) 延宝年間(1673-1681)「金沢図」／『復刻古地図 延宝年間延宝金沢図』人文社〔出版年不明〕
106×139cmを2分割【K290.3/1064】原本は上記「延宝金沢図」の写本(石川県立図書館所蔵森田文庫)。

- (5)元禄年中(1688-1704)「宮腰町絵図」60×84cm／【K222/125/2-18-B-18】※1
宮腰町町人の名前と居住地を記載。
- (6)文化8年(1811)『金沢町絵図 金沢市図書館叢書2』金沢市立玉川図書館 1998.3 【K209.5/86/2】
金沢町の絵図を切り絵図形式に分割して図書の形態で出版されたもの。金沢町町人の名前と居住地を記載。
- (7)天保14年(1843)「金府大絵図」／『金沢・北陸の城下町』平凡社 1995.8【K290.3/327】
江戸時代後期の金沢町の武士の屋敷地を記載。①大手町から武蔵ヶ辻周辺②香林坊から犀川大橋③兼六園から小立野台地へ④卯辰山麓周辺⑤犀川・寺町周辺⑥小立野台地から本多下屋敷、6つの地区では、絵図と現在の地図を並べて収録。
- (8)明治3年(1870)「金沢市街図」60×84cm／【K222/125/2-18-B-8】※1
- (9)明治21年(1888)「一万分の一地形図」(1万分の1) 84×60cm／【K222/125/2-18-B-24】※1
(北東)三池村(北西)畝田村(南東)大桑村(南西)野々市村までの間を収録した広域図。
- (10)明治38年(1905)「金沢市街図」(1万分の1を若干縮小) 60×42cm／【K222/125/2-18-B-25】※1
- (11)明治42年(1909)『金沢市街図』(6千分の1) 石川県内務部第二課 1909.8 106×77cm
【K290.3/304】
- (12)大正5年頃(1916)「金沢市中編入旧郡地概図」(縮尺不明1万分の1程度)36×50cm／『稿本金沢市史市街編第2』金沢市編 名著出版 1973【K222/37/2】
『稿本金沢市史 市街編第2』の折込図。本編には明治4、5、9、11、22、25年改定の区割の町名が記載。
- (13)大正13年(1924)『金沢市』(1万分の1) 金沢市 1924.6 79×55cm【K290.3/241】
- (14)昭和4年(1929)『金沢新市街地図』(1万分の1)供田太七 1929.11 39×54cm【K290.3/253/29】
- (15)昭和7年(1932)『金沢市街図』(1万分の1) 大阪毎日新聞社金沢支局 1932.4 38×54cm
【K290.3/263】 産業と観光の大博覧会記念の地図。
- (16)昭和11年(1936)『金沢新市街地図』(1万分の1)供田太七 1936.1 39×55cm【K290.3/253/36】
- (17)昭和18年(1943)『金沢市街図』(1万分の1) 池亮吉著 池善書店 1943.5 51×37cm
【K290.3/251】
- (18)昭和29年(1954)『金沢市街地図』(1万分の1)池亮吉著 福音館 1954 54×38cm【K290.3/262】
- (19)昭和31年(1956)『金沢市住宅明細地図』日本地図編集社 1956【K290.3/住 22/56】
当館所蔵の一番古い金沢の住宅明細図。
※1 『金沢市史資料編 18 絵図・地図』(金沢市史編さん委員会編集 金沢市 1999.3)の別刷絵図・地図。

Ⅱ 2万分の1、2万5千分の1地形図

- (1)明治42年(1909)「二万分一地形図」／『正式二万分一地形図集成 中部日本3』地図資料編纂会編集 柏書房 2003.4【AA291.03/10044/3】<中部地方分所蔵>
- (2)明治42年(1909)頃 地図で見る金沢の変遷Ⅰ(1:25,000)／【K290.3/1004】※2
- (3)昭和5年(1930)頃 地図で見る金沢の変遷Ⅱ(1:25,000)／【K290.3/1004】※2
- (4)昭和30年(1955)頃 地図で見る金沢の変遷Ⅲ(1:25,000)／【K290.3/1004】※2
- (5)昭和45年(1970)頃 地図で見る金沢の変遷Ⅳ(1:25,000)／【K290.3/1004】※2
- (6)昭和43-51年(1968-1976)『1:25,000地形図』 国土地理院 1968-1976 【K290.3/173】
<石川県分所蔵>
- (7)平成6年(1994)頃 地図で見る金沢の変遷Ⅴ(1:25,000)／【K290.3/1004】※2
- (8)昭和60-平成11年(1985-1999)『1:25,000地形図』国土地理院 1985-1999 【K290.3/1006】
<石川県分所蔵>
※2 『地図で見る金沢の変遷』(日本地図センター 1997.10)収録。

Ⅲ 5万分の1地形図

- (1)大正元-昭和8年『五万分一地形図[石川県]』大日本帝国陸地測量部 1912-1933【K290.3/192】
- (2)昭和28-35年『五万分一地形図[石川県]』地理調査所 1953-1960【K290.3/151】
- (3)昭和57年頃『全国五万分一地形図』(1982年度受入) <全国分所蔵>
- (4)平成15年頃『5万分1地形図』国土地理院【RA290.3/10015】(2003年度受入) <全国分所蔵>

調べものは調査相談カウンターまで

電話:076-223-9575 FAX:076-222-2531 MAIL:chosa@pref.ishikawa.lg.jp